

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	母体救命搬送症例における早期母子接触と母乳の関係
研究責任者	有吉 悠
研究機関名	日本赤十字社医療センター 産婦人科
研究目的と意義	<p>当院は赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital)としてWHO、UNICEF から2000年に認定されており、分娩直後の早期母子接触や母子同室を通じて母乳育児支援を行っている一方で、産後大量出血や脳卒中等、母体救命に対応する総合周産期母子医療センターとしての役割も担っております。</p> <p>一般に重篤な産褥搬送症例では、母子分離となり早期より人工栄養をよぎなくされることが多いですが、当院では積極的な母子同室や母子接触を推奨しております。</p> <p>今回我々は当センターの母体救命搬送症例に対する母乳育児支援の取り組みを、今後の支援の課題を明らかにするために検討したいと考えております。</p>
研究方法	<p>対象は2010年1月から2020年2月までに当院に救急搬送された褥婦さんのうち、産後24時間以内に母子分離となってしまった方です。</p> <p>診療録に記載の内容をもとに、臨床所見や治療経過また早期母子接触の実施率や母乳率に関して後方視的に解析します。また研究結果は論文で公表されます。</p> <p>倫理的配慮：解析は、個人情報の保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：有吉 悠 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>